

文 献 目 録

文 献 調 査 委 員 会

注：○掲載順序：雑誌名・巻号・発行年月・論文名・ページ数・著者
○目録欄に掲載の雑誌はすべて土木学会土木図書館備付図書である。

土 木 技 術 29-1 74-1

- 1 大和川上流流域下水道事業 (24-35) 山田睦郎
- 2 道路工事の工程計画管理におけるコンピュータの導入 (36-52) 西野久二郎
- 3 Merrisson 委員会報告書の要旨 (53-59) 成瀬・下瀬
- 4 外洋におけるシーパースの施工 (77-82) 大矢・島田
- 5 大久保バイパス寺田高架橋設置工事 (83-88) 今野・上間
- 6 ブラジル RIO-NITEROI 橋の架設 (89-91) 田中忠夫
- 7 最近の着目すべき施工法—ソレタンシュ注入工法 (11) — (92-101) 酒井・島田

- 8 アースドリル工法の施工と安定液に関する最適条件 (9) (104-114) 宮沢・山本

土 木 技 術 29-2 74-2

- 9 コンクリート用エポキシ樹脂接着剤 (20-30) 泉・石川
- 10 軟弱地盤における大断面掘削計画 (31-37) 高野信夫
- 11 斜張橋の実績とその分析 (38-42) 金谷 修
- 12 特殊法面工法の選定 (43-47) 田口紀幸
- 13 平湯トンネルの設計 (57-66) 白村 晋
- 14 姫路バイパス主要構造物の設計施工 (67-75) 高篠 香
- 15 Merrisson 委員会報告書の要旨 (続) (76-79) 成瀬・下瀬
- 16 アースドリル工法の施工と安定液に関する最適条件 (10) (80-88) 宮沢・山本
- 17 最近の着目すべき施工法 —ソレタンシュ注入工法 (完) (89-96) 酒井・島田
- 18 固定梁の端モーメントを求めるためのノモグラフ (97-99) 山口 勝

土 木 技 術 29-3 74-3

- 19 笹谷トンネルの計画 (20-28) 斎藤 備
- 20 安定液管理方法と廃泥水処理システム (29-42) 足立・森・石橋
- 21 歴青材への鉍滓利用 (43-46) 新田・阿部
- 22 札幌市地下鉄東西線の計画設計 (57-68) 本間孝一
- 23 近畿道木曾三川橋の設計と 施工 (1) (69-81) 小杉・浜田・成瀬
- 24 鈴鹿バイパス主要構造物の設計施工 (1) (82-88) 横沢・宇井・小山
- 25 アースドリル工法の施工と安定液に関する最適条件 (11) (89-98) 宮沢・山本

土 木 技 術 29-4 74-4

- 26 強化サンドマット層の強度試験 (20-28) 掘松和夫
- 27 わが国における土木技術発達の歴史 (29-34) 進藤 卓
- 28 米国における空港計画および建設の動向 (35-45) 佐藤勝久
- 29 港大橋の設計施工 (57-68) 笹戸松二
- 30 近畿道木曾三川橋の設計と 施工 (2) (69-78) 小杉・成瀬・浜田
- 31 鈴鹿バイパス主要構造物の設計施工 (2) (79-85) 横沢・宇井・小山
- 32 土木構造物デザインノート (86-91) 関・森

- 33 アースドリル工法の施工と安定液に関する最適条件 (12) (93-100) 宮沢・山本

- 34 流砂における掃流力を試算するためのノモグラフ (46-48) 山口 勝

施 工 技 術 7-1 74-1

- 35 土木工事とオーダーメイドの技術 (18-20) 小島圭二
- 36 日本農業土木集団と海外農業水利開発 (21-22,32) 木村隆重
- 37 土木設計雑感 (23-26) 山本治生
- 38 土木技術者はサマになるのか (27-29) 関 淳
- 39 土木の将来と私達 (30-32) 地質グループ
- 40 軟弱地盤における開削工事の設計・施工 一都営地下鉄 10 号線 (江東地区) の問題と 対策一 (33-49) 三好・佐々木・金安
- 41 これからの原価管理 (97-99) 野木貞夫
- 42 メキシコ地震に学ぶ 一都市と後遺災害一 (65-73) 村上・平井
- 43 泥水式シールド工法による国鉄新鶴見操車場横断工事 (50-57) 大槻・中村・入村
- 44 自転車道における縦断勾配の設定法 (58-61) 遠藤作次
- 45 泥水壁圧気逆巻工法による施工 (75-83) 守屋・松田
- 46 MAP 工法—新鋼矢板圧入工法の実験報告 (85-87) 鷲田 (信)・鷲田 (祐)
- 47 バイプラインの水底敷設施工 (89-93) 原田千三
- 48 海洋土木の新しい動き (11) 一大径円筒構造物に関する波浪実験 (101-109) 長崎作治
- 49 主桁の現場溶接 (4) (110-114) 関西道路研究会
- 50 現場計測技術ノート (14) 一地下連続壁工法による土留壁の現場計測 (その4) (115-119) 藤田・加藤

施 工 技 術 7-2 74-2

- 51 舗装厚設計法の変遷 (17-20) 飯島 尚
- 52 舗装厚設計の問題点 (21-25) 福田 正
- 53 目地材の選定と設計 (26-31) 蔦田 実
- 54 コンクリートの配合設計 (32-37) 養王田栄
- 55 「琉海ビル」建設現場大陥没事故 (9-12) 末吉栄三
- 56 公共土木事業用機械装備の発達史 (94-100) P ポントレモリ・近藤康治訳
- 57 合成樹脂製ドレーン材の諸特性 (81-85) 佐々木・山田・谷口
- 58 地盤沈下地域でのくい基礎の設計と施工 (前) —ネガティブフリクションの仕組みと建物の影響 (86-90) 井上・小林
- 59 巨大閉鎖空間は安全か—熊本・大洋デパート火災と建築空間 (111-113) 中村・木村・溝池
- 60 舗設機械の運転管理 (38-45) 沢 静男
- 61 東北縦貫自動車道・矢坂~白河間の設計・施工 (46-55) 村山耕一
- 62 大阪国際空港滑走路舗装の設計・施工 (56-64) 山田尚人
- 63 山形北バイパスの設計・施工 (65-74) 中島 弘
- 64 金沢バイパスの設計・施工 (75-79) 舟田 敏
- 65 主桁の現場溶接 (3) (91-93) 関西道路研究会
- 66 海洋土木の新しい動き (12) 一大径円筒構造物に関する波浪実験 (2) (101-105) 長崎作治
- 67 防災科学の零点 (4) —1972 年マナグア地震に関する見解 (106-107) 村上慶直
- 68 これからの原価管理 (2) —原価管理からみた見積りとその科目体系 (115-119) 野木貞夫

施 工 技 術 7-3 74-3

- 69 道路景観の意義 (6-9) 片平信貴
- 70 道路と地域の性格 (10-13) 横山光雄

土木雑誌 施工技術

7月号 6月20日発売 定価480円(〒40円)

新しい軟弱地盤処理工法

特集：敷網工の設計・施工実例集

敷網工の概念と設計・施工の問題点……………九州大	山口豊徳
プラスチックネットの土中における挙動…東北ポリマー	花羽 鴻
【施工実例】	
高速道路における敷網工の設計・施工……………北友建設	湖山東明
低盛土における敷網工の設計・施工…建設省東北技術事務所	片桐真次
超軟弱地盤における敷網工の設計・施工…大阪市港湾局	高見 齊
五洋建設	山田貞彦

■主要記事

ストラナード式移動支保工の設計・施工……………大成建設	貝野直典
地下鉄建設における公害対策……………首都圏建設交通財団	入江平門

テクノロジー・アセスメントの進め方

国土省工業技術院 石本幹郎 著
植橋 浩

A 5判 160ページ 定価1400円

図解 土木用語辞典

土木用語辞典編集委員会 編
新書刊 664ページ 定価1800円

土質安定工法便覧

京都大学 松尾新一郎 編
A 5判 734ページ 定価7000円

生石灰による地盤改良

一工業技術ライブラリー一
小野田セメント 伊東篤雄 編
B 6判 160ページ 定価 580円

日刊工業新聞社出版局 東京都千代田区九段北1-8-10 ☎03(263)2311 (代表)

待望の杭基礎設計の決定版 ——好評発売中——

監修 工学博士 吉田 巖 杭基礎の設計実技とその解説

——主な内容——

第1章 設計一般……………青木 重雄	
第2章 基礎地盤調査と載荷試験……………吉田 巖	
第3章 既製小径杭(RC、PCおよび鋼杭)の設計例……………(小林 勲	
第4章 大径鋼管杭の設計例と問題点……………(石橋 長和	
第5章 大径PC杭の設計例と問題点……………横山 幸満	
第6章 場所打ち杭(機械掘削)の問題点と計算例……………足立 義雄	
第7章 場所打ち杭(人力掘削)の設計(主として斜面上)……………矢作 枢	
第8章 杭基礎の特殊問題……………(林 宣熙	
	(高橋 道生
	横山 幸満

道路橋下部構造設計指針・くい基礎の設計書の改訂作業が、いま進められている。本書は、工学博士吉田巖氏の監修で、改訂作業に直接たずさわった方々によって、最新の資料をもとに書下ろされた、杭基礎設計のための実務書である。

執筆にあたっては、専門書にありがちな、理論の先行を避け、設計実務に即して図表および設計計算例を豊富に盛り込み、細部にあたって親切な表現法を用いたため、比較的経験の少ない設計技術者にも、充分読みこなせる内容となっている。

したがって、本書は現時点においては最も新しい杭基礎工学書であり、杭基礎の計画、設計、施工にさいして、欠かすことのできない、貴重な引き当り書でもある。

B 5判 490ページ

定価6,500円 〒200円

弊社へ直接お申し込みください

株式会社 建設図書 東京都千代田区外神田2-2-17共同ビル 東京 101 ☎03-255-6684 振替 東京62450

- 71 環境問題と道路 (14-18) 金沢聖司
- 72 道路の機能と景観 (19-23) 篠原 修
- 73 道路と自然環境の保全 (24-27) 宇野 佐
- 74 景観を考慮した道路建設 (28-48) 池田・田村
- 75 設計までの土質調査法と土質試験法 (57-64) 三木五三郎
- 76 パイル・スラブ工法による軟弱地盤処理施工 (49-56) 坂本 稔
- 77 地下街構造物と一体となった高架橋基礎の一考察 (65-73) 寺内・内藤・遠藤
- 78 地盤沈下地域でのくい基礎の設計と施工 (中) —ネガティブフリクション地域でのくいの設計— (74-81) 井上・小林
- 80 防災科学の零点 (5)—災害と人間 (86-87) 村上 直
- 81 公共土木事業用機械装備の発達史 (88-91) P. ポントレモリ・近藤康治 訳
- 82 現場計測技術ノート (15) —地下連続壁工法による土留壁の現場計画 (その5) (95-100) 藤田・加藤
- 83 主桁の現場溶接 (最終回) (101-106) 関西道路研究会
- 84 海洋土木の新しい動き (13) —海洋土木作業の生物に及ぼす影響 (その1) (107-112) 長崎作治
- 85 何時まで“晋請中”は続くのか (82-85) 奥野健男
施工技術 7—4 74—4
- 86 騒音問題に対する基本的認識 (8-11) 山本剛夫
- 87 騒音の人間に対する影響 (12-17) 長田泰公
- 88 騒音問題と環境権・公共性 (18-20) 川村俊雄
- 89 建設工事騒音 (21-26) 永田 徳
- 90 道路交通騒音 (27-34) 子安 勝
- 91 航空機騒音 (35-40) 中村隆一
- 92 シラス地帯の道路のり面工法 (41-50) 島 常信
- 93 推進工法による用水路横断工事—奄美百済線管路新設施工— (51-63) 渡辺正和
- 94 海中の排水発電所を考える (67-70) 金野 仁
- 95 地盤沈下地域でのくい基礎の設計と施工 (後) —ネガティブフリクションに対する構・基礎— (88-91) 井上・小林
- 96 設計までの土質調査法と土質試験法 (2)—軟弱地盤上の盛土— (71-76) 中瀬明男
- 97 これからの原価管理 (3)—PERT/COST 手法 (その1) (77-83) 野木貞夫
- 98 公共土木事業用機械装備の発達史 (92-97) P. ポントレモリ・近藤康治 訳
- 99 現場計測技術ノート (16)—トンネルの現場計測 (その1) (101-106) 藤田・加藤
- 100 海洋土木の新しい動き (14) —海洋土木作業の生物に及ぼす影響 (2) (107-112) 長崎作治
- 101 シラス地帯の道路のり面工法 (41-50) 島 常信
- 102 推進工法による用水路横断工事—奄美百済線管路新設施工— (51-63) 渡辺正和
- 103 海中の排水発電所を考える (67-70) 金野 仁
- 104 地盤沈下地域でのくい基礎の設計と施工 (後) —ネガティブフリクションに対する構造, 基礎— (88-91) 井上・小林
- 105 設計までの土質調査法と土質試験法 (2)—軟弱地盤上の盛土— (71-76) 中瀬明男
- 106 これからの原価管理 (3) —PERT/COST 手法 (その1) (77-83) 野木貞夫
- 107 公共土木事業用機械装備の発達史 (92-97) P. ポントレモリ・近藤康治 訳
- 108 現物計測技術ノート (16) —トンネルの現場計測 (その1)— (101-106) 藤田・加藤
- 109 海洋土木の新しい動き (14) —海洋土木作業に及ぼす影響 (2) (107-112) 長崎作治
建設の機械化 286 73—12
- 110 首都高速湾岸荒川湾岸橋架橋の計画 (2-8) 木村・木田
- 111 北総東部用水の送水機構 (9-15) 田窪・阿部
- 112 旧吉野川河口堰建設事業の現況—今切川河口堰建設工事— (16-20) 立川耕平
- 113 九州縦貫道御船工事における軟弱地盤改良工事 (21-27) 宮崎・八戸
- 114 関門橋の床版コンクリート打設 (28-35) 仁木・風間
- 115 河川用ゲートの自動制御方式と実用例 (36-42) 奥山光雄
- 116 ブレーカ遮音ボックスについて (43-46) 玉記章次
- 117 沖縄国際海洋博覧会会場建設の現状と問題点 (50-52) 松岡宏吉
- 118 日本列島沿岸海域の地質構造と沿岸海洋開発システム (53-65) 松石秀之
- 119 海底地形および地質調査 (66-68) 西村 謙二
- 120 海底地形および地質調査機器—水中音響機器について— (70-75) 西村鉄雄
- 121 建設機械用タイヤについて (その2) —現場技術者のための基礎知識— (76-81) 機械技術部会タイヤ技術委員会
- 122 現場フォアマンのための土木と施工法 XVII. 建設機械概説 11, アスファルト舗装機械 (82-88) 篠川之俊
建設の機械化 287 74—1
- 123 相模川流域下水道左岸幹線の機械掘削計画 (2-5) 茂森 拓
- 124 東北新幹線岡トンネルの施工概要 (6-10) 佐野・金子
- 125 石勝線建設の工事現況 (11-17) 岩田信雄
- 126 大清水トンネルの工事現況 (18-24) 宮崎 弘
- 127 T.B.M. による休山配水トンネルの施工実績 (25-31) 戸田・住吉・諸本
- 128 新しい輸送システムの実施例 (32-36) 古泉栄一
- 129 ケミカル・インジェクション工法について (37-41) 川上・中村
- 130 現場フォアマンのための土木と施工法 XVII. 建設機械概説 12 エンジン (その1) (81-84) 東 孝行
建設の機械化 288 74—2
- 131 供用延長 1 800 km を迎える高速道路 (2-6) 住友栄吉
- 132 浜名大橋の建設計画 (7-13) 今村浩三
- 133 貫通を目前にした恵那山トンネルの現況 (14-22) 中道・井出
- 134 東北自動車道矢塚～白河間コンクリート舗装の機械化施工 (23-28) 杉田美昭
- 135 大口径 (φ 3.0 m) リバース工法によるくいの施工 (29-35) 嵯山・磯辺
- 136 プレバックドコンクリート用超大型モルタルプラントの開発 (36-44) 桜井・坂本
- 137 海底掘削機の開発 (45-49) 大橋・千田
- 138 ISO/TC/27/SC 3 会議報告 (53-71) ISO 部会, 第 3 委員会
- 139 現場フォアマンのための土木と施工法 XVII. 建設機械概説 12. エンジン (その2) (72-78) 東 孝行
- 140 ZW 500 キャリコンプラント (79-79) 青山嘉博
- 141 クローラ式アスファルトフィニッシャ HA 36 C (80-80) 竜敬之進
建設の機械化 589 74—3
- 142 露天掘における大形機械の稼働実績—鳥形山石灰石鉱山— (2-9) 水本 洋
- 143 鴨川バイパス嶺岡トンネルの工事実績—膨張性地山におけるメッセル工法 (10-17) 藤井・竹林

**出版記念
予約特価募集**
二一報次第パンフレット送呈

建築と環境デザインを総合した本格的辞典！

建築大辞典

編集委員：青木 繁
阿部 公正
伊藤 藤三郎
犬塚 恵三
内田 田哉一
岸谷 祥孝
城谷 一豊
土田 旭彦
沢平 克彦
(50音順)

このたび弊社は、四十余年にわたる建築書専門出版の実績の集約とも言うべき「建築大辞典」をいよいよ刊行いたします。

学識経験豊かな9名の編集委員プラス120余名の第一線クラスの執筆者という豪華な編集・執筆陣と、既刊建築図書一千余点、「建築文化」を含めた3雑誌の発行によって培われた高度な出版経験を持つ弊社との真摯な協働によって誕生するこの大辞典は、正にその豊富な収録語彙数と相俟って、比類なく優れた内容を持っているものと自負しております。

昨年春、新訂版の完結を見た「建築学大系」にも匹敵するこの大出版は、建築全関係者はもとより、さらに広く土木技術者・都市工学関係者・一般デザイナー・造園家・美術家・歴史家・その他の分野の方々にとっても必備の書であると言っても過りません。

今回の特価セールは、永年を費やしての出版を記念して行うもので、予約者へのみ特価でお求め頂くこととなります。従って製作部数に限度がありますので、洵に恐縮ながらお申込み順に受け、一定数に達し次第締切らせて頂きます。

何とぞ、この機会に一冊を書架にお備えになり、日常の勉強あるいは知識の宝庫としてご利用くださいますようお願いいたします。

■予約特価募集規定

募集方法＝今回の特価セールは、予約者へのみ特価でお求めいただくもので、下記募集期間内に予約申込みをしていただき、定価37,000円を特価33,000円でご購入いただきます。なお、部数に限りがございますので一部数に達し次第締切らせていただきます。購入ご希望の方は早めにご予約ください。

募集期間＝昭和49年5月15日～昭和49年8月15日(予約特価締切り)

定 価＝37,000円

予約特価＝33,000円

支払方法＝配本時に現品と引換えに一括してお支払いいただきます。

配 本＝昭和49年9月末日より配本開始予定

申込方法＝購入ご希望の方は、所定の申込用紙(パンフレットに添付)に必要な事項をご記入の上、書店を通じてお申込みください。なお、書店扱いが不便の方や直送をご希望の方は、弊社宛直接お申込みください。但し弊社直接の場合は、本代のほかに送料(500円)が加算されますので、この点ご了承ください。

彰国社編

B5判・約2,000ページ

8ボ2段組み

特別上製本・天金仕上げ

特製箱入り

乞うご期待
刊行予定：昭和50年7月より

あすの国土環境を創るための新しい発想にもとづく土木工学！

土木工学大系 全30巻

環境問題の多面化、複雑化に伴う国土開発をめぐる社会状況は、大きな変化を遂げ、土木技術者の役割にも変化が生じつつある。これらに応ずる学問として、新しい発想に基づく土木工学大系の再出版が期待されている。本企画は、大胆にして新鮮な国土開発のあり方を考える創造のための新しい学問大系を願い、従来にならぬ編成で世に問うこととした。

監 修：樋口 芳朗
福岡 正巳
八十島 義之助
編集委員：赤木 俊允
伊藤 学滋
伊藤 敏次
酒匂 武雄
菅原 操
鈴木 忠義
高橋 裕行
玉井 信英
中村 夫貢
中村 良夫
中波 木守
西沢 紀昭
西野 紀雄
原 芳男
宮 脇 昭
(50音順)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 土木技術論 | 16 地域開発論(I) |
| 2 自然環境基礎論(I) | 17 地域開発論(II) |
| 3 自然環境基礎論(II) | 18 都市環境論 |
| 4 連続体の力学/基礎編 | 19 ケーススタディ 環境衛生 |
| 5 連続体の力学/構造編 | 20 ケーススタディ 防災 |
| 6 連続体の力学/流体編 | 21 ケーススタディ 観光とレクリエーション |
| 7 材料工学総論 | 22 ケーススタディ 水資源 |
| 8 材料科学 | 23 ケーススタディ エネルギー開発 |
| 9 材料設計 | 24 ケーススタディ 生産施設 |
| 10 計画論 | 25 ケーススタディ 交通(I) |
| 11 景観工学 | 26 ケーススタディ 交通(II) |
| 12 環境アセスメント | 27 ケーススタディ 交通(III) |
| 13 設計論 | 28 ケーススタディ 国土計画 |
| 14 プロジェクト・マネージメント | 29 ケーススタディ 都市計画 |
| 15 開発情報論 | 30 ケーススタディ 農山漁村計画 |

書名・巻数に多少変更が生ずるかも知れません

建築・土木図書専門出版の**彰国社**  東京都新宿区坂町25/電話03-359-3231

- 144 橋脚はり回転工法による広島高架橋の施工概要 (18-23) 川崎・小谷
- 145 PC橋工の施工機械による省力化 (24-92) 佐藤浩一
- 146 雪寒地におけるエアテントによる冬期工事の実験例 (30-36) 赤津武男
- 147 ロータリカッターによる舗装はぎ取り工法の概要 (37-41) 高野・内藤
- 148 温水循環ロードヒーティングの実用化試験 (46-50) 奥田・田代
- 149 立軸小形ロータリ除雪装置の開発 (51-56) 磯部金治
- 150 パキスタン・タルベラダム工事における大容量コンベヤの稼働状況 (57-63) 永井正義
- 151 鹿児島市祇園洲水搬送による埋立工事の概要 (64-68) 丸野昭
- 155 現場フォアマンのための土木と施工法 XVII, 建設機械概説 12 エンジン (その3) (69-72) 東 孝行
- 土木建設 22-12 73-12**
- 153 下水道事業センターの社会的役割 (28-32) 遠山 啓
- 154 建設コンサルタントの法律上の地位と責任 (49-52) 中村絹次郎
- 155 大口径場所打杭の支持力について (36-39) 河野 要
- 156 導水路奏野サイフォン工事 (施工研究) (44-48) 川澄 脩
- 土と基礎 22-1 74-1**
- 157 第8回国際土質基礎工学会議特集 (1-98)
- 土と基礎 22-2 74-2**
- 158 人間活動と自然環境の変化 (1-4) 多田文男
- 159 土木計画と環境問題 (5-9) 鈴木忠義
- 160 多摩ニュータウンと文化財の保護 (11-17) 北条晃敬
- 161 埋立工事と環境問題 (19-27) 中井喜一郎
- 162 ベッドタウンに鉄道トンネルを掘る (29-36) 笹尾 禎
- 163 笹ヶ峰ダムの施工と環境保全 (39-44) 高木・木村・種田
- 164 鈴鹿公園有料道路の工事概要 (45-49) 河合忠雄
- 165 都市土木における環境保全 (51-56) 鈴谷尚克
- 166 工事に伴う環境調査要領 (57-62) 坂口清実
- 167 「土質基礎の回顧と点描」3. 鉄道関係 (その2) (73-79) 斉藤・室町・小橋
- 168 「N値を考える」3. 標準貫入試験の機構 (その1) (81-87) 宇都・冬木
- 169 「最近の地形学」2. 総論 (89-94) 貝塚爽平
- 170 山はね (17-18) 小林芳正
- 171 クイの横抵抗定数 (71-72) 沢口正俊
- 172 大型振動台による模型堤防ならびに砂層の液状化の実験について (9-10) 久楽・古賀
- 173 「本四連絡橋明石地質調査および第2六甲トンネル工事」見学記 (36-38) 来馬章雄
- 土木技術資料 15-12 73-12**
- 174 河口現象の把握の問題点 (3-7) 山本晃一
- 175 大口径円柱に作用する波力 (1) (8-12,17) 白波瀬正道
- 176 道路トンネルの火災対策 (13-20) 立石俊一
- 177 道路トンネル内浮遊粉じんの実態調査 (18-20) 市原 薫 外 3名
- 178 高速道路における流入特性 (21-26) 満田 喬
- 179 スタッド付きの圧延H形鋼および溶接Hげたの曲げ疲労試験 (27-34) 国広・井上・古庄
- 180 ホンコンのがけ崩れ—第2報— (35-40) 大久保・岡本
- 181 現場計測 (21)—ダム—(2)— (45-51) 城島誠之
- 土木技術資料 16-1 74-1**
- 182 都市河川研究の現況と問題点 (6-12) 山口高志
- 183 くい周面抵抗 (13-18) 足立・山川
- 184 トンネルコンクリート覆工の強度 (19-24) 今田・平江
- 185 汽水湖の淡水化—小川原湖の例— (25-29) 白波瀬正道
- 186 ラテックスタイプゴム入りアスファルト舗装の効果 —千葉県宮野木試験舗装区間における観測結果より— (30-37) 南雲・小島・加藤
- 187 フランスの新交通システム (38-42) 荒牧英城
- 188 現場計測 (22) —RIによる現場密度・含水量の測定— (40-54) 嶋津晃臣
- 土木技術資料 16-2 74-2**
- 189 地質調査業の実態 (1-2) 今西誠也
- 190 地下水利用の現状と問題点 (3-8) 石崎・末永
- 191 既往最大地点降水量とその全国分布 (9-12) 橋本・山田
- 192 河口堰、橋梁等の構造物による波浪減殺効果と波力に関する実験的考察 (13-18) 九津見生哲
- 193 道路構造と自動車騒音—その3— (掘割道路の騒音に関する模型実験) (19-26) 金泉 昭
- 194 コンクリート舗装用高弾性目地材の挙動と注入設計 (27-33) 碓田・吉村
- 195 下層路盤安定処理の効果と等値換算係数の推定—横戸試験舗装の観測結果から— (34-39) 永康・古閑
- 196 鋼床版隅肉溶接部の疲労試験結果 (40-44) 国広・藤原・武田
- 197 マルターゴゾ連絡架橋調査に参加して (45-49) 駒田敬一
- 198 現場計測 (23) —基礎— (50-55) 山川朝生
- コンストラクション 11-12 73-12**
- 199 南港大橋の計画ならびに設計について (21-25) 笹戸・山崎
- 200 人工軽量骨材の現状と将来 (65-68) 人工軽量骨(ALA)材協
- 201 会写真でみるアースロック式廃泥水処理システム (69-74)
- 202 土木技術者のための基礎工法教室 基礎工法の選定と設計例<杭基礎1> (26-33) 森重竜馬
- 203 現場技術者のためのわかりやすい土の話 (34-44) 羅 文鶴
- 204 現場技術者のための薬液注入工法 (45-56) 島田・兼松
- 205 実践油圧教室入門 (57-64) 白石哲男
- コンストラクション 12-1 74-1**
- 206 岩盤調査の意義と今後の展望 (1-5) 小野寺 透
- 207 トンネル工事のための地質調査 (6-17) 池田和夫
- 208 ダムの岩盤調査 (18-32) 末富 宏
- 209 切取斜面のための岩盤(地質)調査 (33-38) 吉中竜之進
- 210 長大橋基礎のための地質調査 (39-44) 越智啓登
- 211 開発計画を考慮した骨材資源の調査 (45-55) 遠藤源助
- 212 土木技術者のための基礎工法教室 基礎工法の選定と設計例<杭基礎2> (61-73) 森重竜馬
- 213 大径PCくいの指針について (56-60) 綾 亀一
- 214 実践油圧教室入門 (74-77) 白石哲男
- コンストラクション 12-2 74-2**
- 215 続・最近のヨーロッパの土質基礎事情 I. 総説 (1-3) 三木五三郎
- 216 続・最近のヨーロッパの土質基礎事情 II. 東欧・北欧の地質と土質 (3-6) 福田泰三
- 217 続・最近のヨーロッパの土質基礎事情 III. 土質調査と土質試験 (6-10) 平間邦興
- 218 続・最近のヨーロッパの土質基礎事情 IV. 基礎工法 —掘削— (11-15) 稲田・吉田
- 219 続・最近のヨーロッパの土質基礎事情 IV. 基礎工法 —アーカー— (15-18) 林 敬次郎
- 220 続・最近のヨーロッパの土質基礎事情 IV. 基礎工法 —注

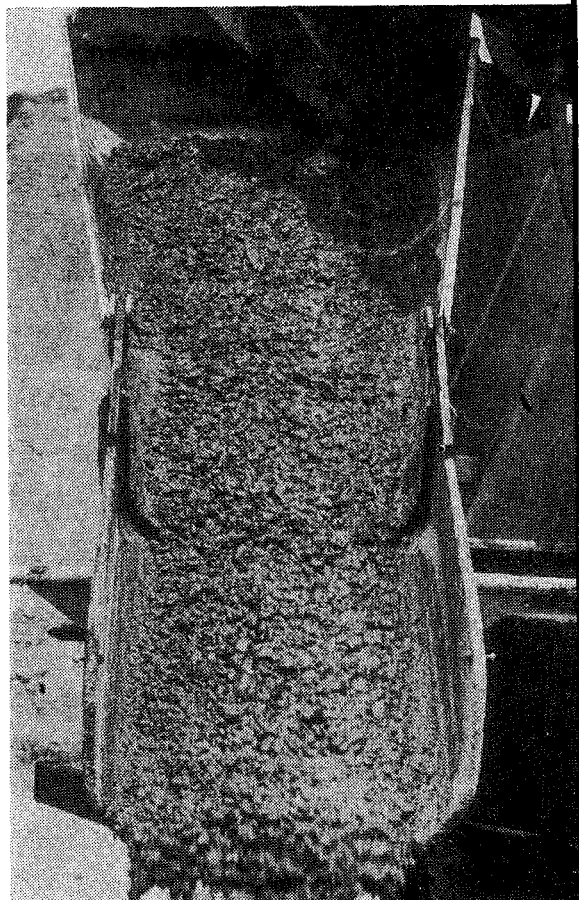
混和剤は個性を持っています。

選択にはキビシイ目で……………

混和剤は各銘柄ごとに個有の使用量や使用方法、そして効果を持っています。このため使用時には、そのつど比較試験が行われるわけです。

混和剤は、その特性を十分に認識して使うことが必要です。ですから、ただ一度だけの試験結果で混和剤の性能を定めることなどは危険です。過去のデータ、研究発表、使用実績、使用方法の簡便さ、危険度、その混和剤が十分に管理された状態で生産されているか(品質の均一性)など、総合してその特性価値や性能を判断してください。混和剤は、混和剤に適合する使用を行ってこそ、その有効な使用が可能です。

混和剤は正しく用いてください。



信頼のブランド



ポゾリス物産株式会社

本社 東京都港区六本木3-16-26 (582) 8811
 東京・大阪・名古屋・広島・福岡・仙台
 札幌・上越・高岡・宇都宮・千葉・静岡・高松

- 入一 (18-22) 中川久行, 外 3 名
- 221 続・最近のヨーロッパの土質基礎事情 V. 西ドイツの職業訓練 (22-24) 林 敬次郎
- 222 続・最近のヨーロッパの土質基礎事情 VI. あとがき (24-24) 三木五三郎
- 223 大阪市地下鉄 2 号線 (谷町線) 都島シールド工事について (25-36) 尾崎宏二
- 224 広島大橋 (下部工) の計画と施工 (46-57) 松下・中島
- 225 東海第 2 発電所の建設について (58-63) 関野秀輔
- 226 土木技術者のための基礎工法教室 基礎工法の選定と設計例<杭基礎 3> (64-73) 森重竜馬
- 227 現場技術者のための薬液注入工法 (74-81) 島田・兼松
- 228 現場技術者のためのわかりやすい土の話 (37-45) 羅文鶴
- 229 実践油圧教室入門 (82-87) 白石哲男
コンストラクション 12—3 74—3
- 230 シールド工事に用標準セグメントの特集に当って (2-5) 山本 稔
- 231 I. 標準鋼製セグメント編 1. 標準鋼製セグメントの形状および寸法について (6-12) 村上・武田
- 232 2. 標準セグメントの応力計算条件と設計計算について (12-20) 伊阪・原田
- 233 3. 標準セグメントの細部構造について (20-27) 遠藤房男
- 234 4. 標準セグメントの製造について (27-32) 井上・望月
- 235 II. 標準コンクリートセグメント編 1. 標準セグメントの形状, 寸法および性能について (33-42) 山本・武田
- 236 2. 標準コンクリート系セグメントの設計計算と応力計算条件について (42-47) 松本・桜木・菅原
- 237 3. 標準コンクリート系セグメントの細部構造について (48-51) 平山・青山
- 238 4. 標準セグメントの製造について (51-56) 藤井・米田
- 239 5. 標準コンクリート系セグメントの検査について (56-64) 都築・桑原
- 240 現場技術者のためのわかりやすい土の話 (65-72) 羅 文鶴
- 241 実践油圧教育入門 (基礎編) (73-77) 荻原義久
農業土木学会論文集 47 73—10
- 242 ケイハン造成について一傾斜地水田における農地整備の基礎的研究 (II)— (1-8) 長堀金造, 外 3 名
- 243 移動床変化の周波数特性と水理量の関係 一移動床の関係スペクトル解析 (第 2 報) — (9-15) 関谷光博
- 244 有限要素法による堤体および基礎における浸透流解析 (16-21) 沢田・吉武
- 245 フィルダムの地震時応答解析について 一フィルダムの地震時応力解析 (2)— (23-34) 青山・汲田
- 246 ダムコンクリート打設に関する最適な順序付 一コンクリートダム施工計画の最適化に関する研究 (1)— (35-43) 浅井喜代治
- 248 ケン引力の予想 一軟弱地盤上における off-the-road locomotion に関する実験的研究 (3) (44-48) 吉田 勲
- 248 隣棟ハウス周囲の風圧分布特性 一團芸ハウスに作用する風圧に関する実験的研究 (N) (49-55) 中崎昭人, 外 3 名
- 249 土捨船投下土砂の分散滞積実験例 (56-61) 桑野定美, 外 5 名
農業土木学会論文集 48 73—12
- 250 浸透水のノリ面浸出によるケイハン崩壊とその対策について 一傾斜地水田における農地整備の基礎的研究 (III)— (1-7) 長堀・天谷
- 251 偏光顕微鏡下の土粒子のモデル配列と透過光強度との関係について (8-15) 藤川・三輪
- 252 土壌水分移動における地温と凝縮の影響について (16-22) 宮崎・雨宮
- 253 八郎干拓地の畑地水分変化の特徴 (23-28) 神尾 彪
- 254 南九州火山灰土壌における水保持機構に関する研究 (29-33) 藤原・馬場
- 255 有機質土の工学的特性に関する実験的研究 一各務原クロボクについて— (34-40) 五十崎・川村
- 256 型ワク人夫数に制限を設けた場合の最適打設工程 一コンクリートダム施工計画の最適化に関する研究 (II) (41-46) 浅井喜代治
農業土木学会論文集 49 74—2
- 257 ケイハン斜面保護について一傾斜地水田における農地整備の基礎的研究 (IV)— (1-6) 佐藤晃一, 外 3 名
- 258 凍結, 融解土壌の物理法 (1) (7-12) 佐藤裕一
- 259 ゲートのもぐり流出時の流量係数について (13-19) 前川・白石
- 260 河床変動からそれに関連する流砂量を推定する方法について一移動床のスペクトル解析 (第 3 報) — (20-26) 関谷光博
- 261 火山性ローム土の初期含水比が液性限界におよぼす影響 (27-34) 相馬・前田
- 262 型ワク人夫数の制限を考慮した修正 PERT 計算の適用例とその考察—コンクリートダム施工計画の最適化に関する研究 (III)— (35-40) 浅井喜代治
コンクリートジャーナル 11—12 73—12
- 263 高強度コンクリートについて—利用と問題点— (1-11) 西忠雄
- 264 メラミン系混和剤のコンクリートの性質に及ぼす効果 (12-21) 小川 鑑
- 265 コンクリートポンプ車による軽量コンクリートの高所施工 (22-32) 内野雅男, 外 6 名
- 266 沖縄のコンクリートの材料・施工の歴史 (33-40) 貝志幸昌
- 267 鉄筋コンクリート・プレストレストコンクリート設計計算入門 18 6. 部材断面の諸常数 (56-65) 村内・横溝
- 268 コンクリートの試験方法 (第 7 回) 7. コンクリート製品の試験 (66-77) 村木・福沢
- 269 プレストレストコンクリート圧力容器におけるコンクリートの挙動 (その 2, 終) (78-88) 岡田・吉田
コンクリートジャーナル 12—1 74—1
- 270 Ductile Shear Wall に期待する (2-3) 武藤 清
- 271 常々気掛になっていることども (4-5) 永田 年
- 272 建築コンクリート構造物の生産責任について (6-8) 横山不学
- 273 CONCRETE ENGINEERING —PRESENT AND FUTURE (コンクリート技術の現状と将来) (11-13) Bryant Mather 小林正凡・訳
- 274 THE PRESENT STATE AND FUTURE TOPICS OF CONCRETE ENGINEERING (コンクリート技術の現状と将来) (11-16) Alan H. Mattock 小林正凡・訳
- 275 コンクリート用材料の現況と展望 (26-34) 山田順治
- 276 コンクリートの利用現況と今後のあり方 (35-39) 柳田 力
- 277 コンクリート技術における今後の課題 (40-41) 白山和久
- 278 コンクリート構造物の将来像を探る (42-46) 梅村 魁
- 279 コンクリート構造物の将来像を探る (47-52) 樋口芳朗
- 280 コンクリート系建築物の安全性 (53-62) 広沢雅也
- 281 コンクリート構造物の安全性 (63-70) 角田与史雄
- 282 20 年後のコンクリートを考える (72-95)

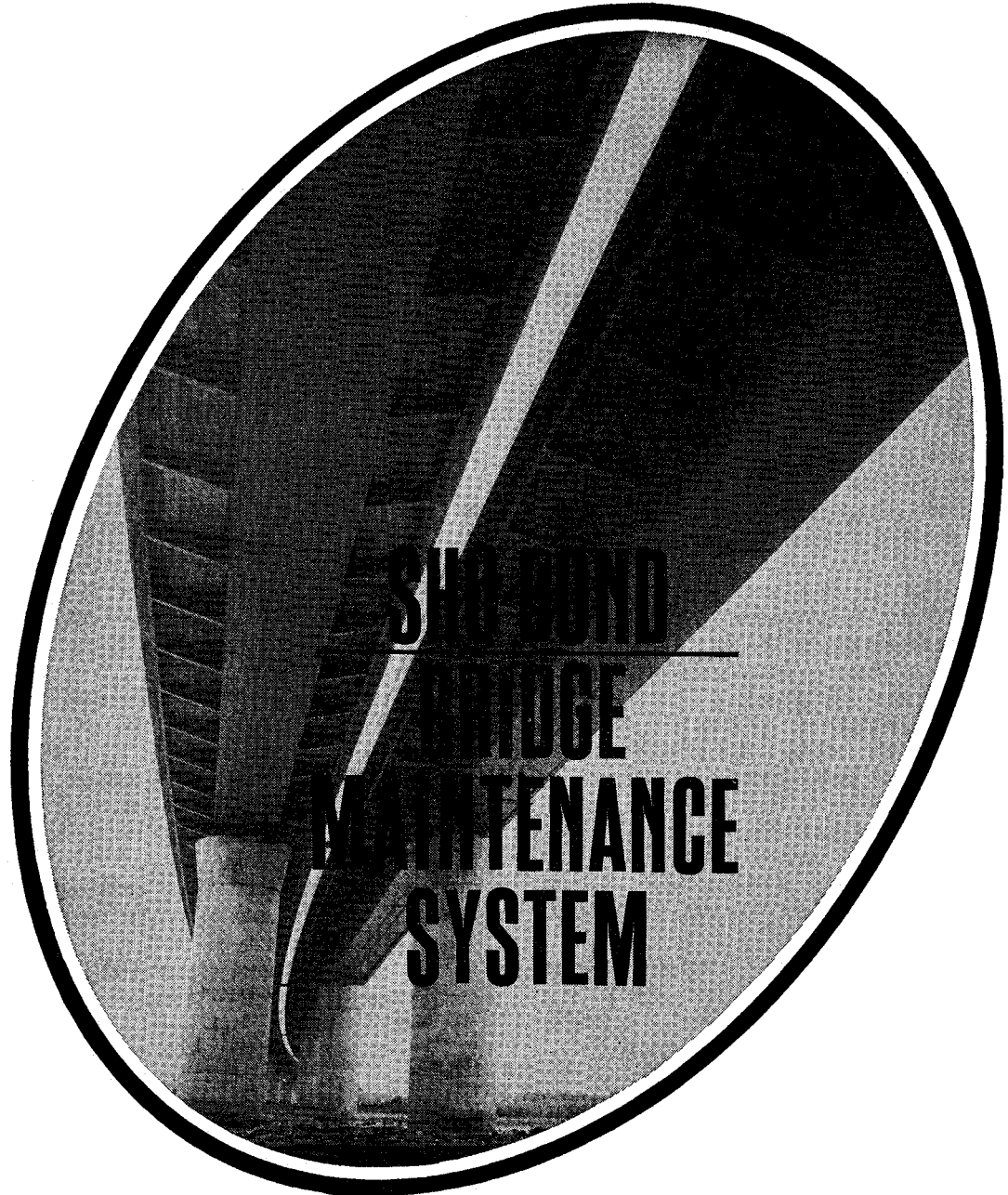
《橋の補修》

橋台・橋脚・支承座面・桁
床版・伸縮装置の補修

産業動脈の重要構造物である《橋》の維持・補修は現在の交通事情からみても、施工上多くの問題をかかえています。

これを解決するものは、新しい工法・技術です。
ショーボンドの橋梁補修工法は

- 交通開放下、昼夜いつでも施工できます。
- 主な使用材料はエポキシ樹脂ですから、急速施工が可能です。
- 他のいろいろな工法に比べて工費を節減できます。



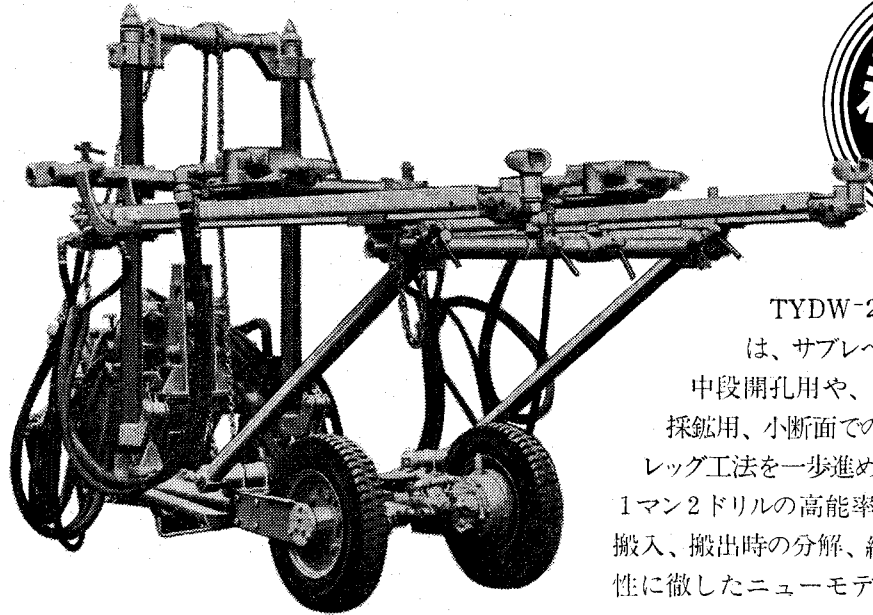
株式会社 **ショーボンド**

建設大臣許可(般-48)第1345号 資本金：2億円
本社：東京都千代田区神田小川町2-1 ☎03(292)1841

- コンクリートジャーナル 12-2 74-2
- 283 鉄筋コンクリート構造物における鉄筋の腐食について (1-16) 岸谷孝一
- 284 可撓耐震壁に関する研究 (17-29) 山口・荒木
- 285 新宿住友ビルにおける高層部床板軽量コンクリートの施工 (31-41) 佃・谷岡・大矢
- 286 せん断 (抵抗) 壁の設計規準 (43-54) 富井・毛井 訳
- 287 耐震性と SHEAR WALLS の構造設計に関する考え方の違い (54-56) 富井政英
- 288 鉄筋コンクリート・プレストレストコンクリート設計計算入門/9 断面力の求め方 (71-83) 村内・横溝
- 289 コンクリートの試験方法 (第8回) 8. グラウト試験 (85-91) 土田秀郎
- 290 軽量コンクリート構造物の温度変化と収縮におよぼす環境の影響 (92-97) 中西正俊・訳
コンクリートジャーナル 12-3 74-3
- 291 東京港沈埋トンネルの概要 (3-6)
- 292 コンクリートの配合と品質 (7-13)
- 293 3. コンクリートの比重と管理 (14-17)
- 294 4. コンクリートの打継目における温度応力の測定 (18-26)
- 295 5. 沈埋型エレメントの製作 一主としてコンクリート工事について一 (22-30)
- 296 6. 沈埋トンネルの設計手法 (31-38)
- 297 7. 沈埋トンネルの動的解析 (39-50)
- 298 8. 沈埋トンネル基礎構造 (51-56)
- 299 9. 各種沈埋トンネルの構造と施工法の紹介 (57-65)
- 300 10. 沈埋トンネルの防水工法 (66-71)
- 301 ひずみの測定方法 (その1) (73-79) 中根・泉
河 川 330 74-1
- 302 OECD における水管理の研究課題 (24-27) 岩佐義朗
- 303 都市化と水資源一埼玉県の現状と課題一 (28-37) 中川弘三郎
- 304 河川管理ゼミナール XIX (48-51) 建設省河川局水政課
- 305 大淀川 (52-55) 上町五男
河 川 331 74-2
- 306 昭和 49 年度治水関係予算の概要 (5-10) 建設省河川総務課
- 307 住宅と水 (11-17) 生瀬・武内
- 308 防災集団移転特別措置法の実施状況と運用上の問題点 (18-21) 田島信威
- 309 建設事業の体系的な策定手法について (22-29) 岩松・関
- 310 一級河川の水質管理 監視体制の現況と課題 (30-35) 佐藤定平
- 311 多摩川浄化実験 (36-42) 紀陸・斉藤
- 312 下水道一調査と計画一 (43-46) 星隈保夫
水温の研究 17-6 74-3
- 313 山形県庄内地方摩耶山系の河川に関する地球化学的研究 (2-14) 加藤武雄
- 314 水文学の歴史 (15-19) 小林 徹
- 315 電力各社の立地・環境対策姿勢 (20-21)
- 316 鹿児島市域河川における水質の変化 (22-29) 塚田公彦
- 317 「水に関する学説判例」に世相の変遷を見る (6) (44-47) 土本善平
新 砂 防 26-2 73-11
- 318 山地河川の流砂に関する 2, 3 の考察 (4-13) 浅田 宏
- 319 侵食谷の発達様式に関する研究 (Ⅲ) — 0 次谷と山崩れとの関係 — (14-20) 塚本・平松・篠原
- 320 土砂害 (主に土石流的被害) と降雨量 (22-28) 瀬尾・船崎
- 321 「空中写真判読による斜面の安全度判定法について」の研究会の報告 (29-33) 空中写真利用研究グループ
- 322 砂防調査における空中写真の利用 (2) (47-59) 中山政一
- 323 昭和 48 年 7 月 31 日集中豪雨による北九州・太宰府周辺の土石流災害について (60-64) 田畑茂清
新 砂 防 26-3 74-2
- 324 まがりかどにたつ砂防 (1-6) 遠藤隆一
- 325 斜面安定解析 (Ⅲ) — 主として標準砂使用室内実験に基づいて — (8-19) 佐々恭二
- 326 侵食谷の発達様式に関する研究 (Ⅳ) — 0 次谷の数を推定する方法 (20-27) 塚本・日下部
- 327 昭和 47 年 7 月豪雨時の西丹沢山地における流出土砂について (28-36) 中山・中筋
- 328 山地流域における土砂流出現象のモデル化とその電算プログラム (37-46) 泉 岩男
- 329 大泉砂防ダムにおける水平断層の処理について (47-52) 福井・牧田
発 電 水 力 128 74-1
- 330 流量測定の精度向上に関する研究 (3-19) 北海道広域利水調査会流量測定法研究小委員会
- 331 圧力トンネルの内径とコンクリートの巻立厚さ (3) (20-36) 西川・畠田
- 332 第二豊実発電所計画概要 (37-50) 吉田・柴田
- 333 奥吉野揚水発電所計画概要 (51-63) 野村勝美
- 334 朝日ダム取水設備改良工事の施工について (64-68) 大沢勲, 外 4 名
- 335 水門鉄管塗替指針 (3) (69-74) 電気事業連合会土木保守関係課長会議
- 336 カナダの水力開発 (2), フランス水力地下 1000 m の深所に下池をつくる揚水発電所の構想 (75-79) 島山 正
水 門 鉄 管 82 73-9
- 337 馬瀬川発電計画について (1-12) 朝倉章二
- 338 球分岐設計の問題と電算を用いた実用的設計法 (有限要素法による膜理論の検討) (13-28) 福永・久松
- 339 水門扉の自動設計 (その 2) (29-37) 横田・松田
- 340 防錆防食塗装講座 (その 4) (38-42) 高橋弘幸
- 341 水門鉄管技術基準解説の補足説明について (水圧鉄管および水門扉の部) (43-49) 技術委員会
水 門 鉄 管 83 73-11
- 342 国際大ダム会議と揚水発電シンポジウム (1-6) 吉田方明
- 343 下小鳥水力発電所の水圧鉄管調圧水そう内張管および本水路トンネル内張管工事 (7-21) 西川・藤本
- 344 祝子発電所水圧鉄管工事 (22-31) 駿河・岡部
- 345 板室発電所の工事について (32-38) 荻野 登
- 346 油圧入門 (その 1) (39-51) 金箱 力
水 門 鉄 管 84 74-1
- 347 エネルギー危機と緊急水力開発 (1-10) 吉田方明
- 348 ニューレンコンダムについて (11-17) 矢野正隆
- 349 埋設水圧鉄管のグラウト座金について (18-28) 藤本・岩田
- 350 油圧入門 (その 2) (29-40) 金箱 力
ダ ム 日 本 350 73-12
- 351 論鶴羽ダムの設計と施工について (13-25) 金藤恒彦
- 352 大切畑ダム高含水コアの施工について (26-33) 白石・花谷
- 353 ロックフィルダムの安定性 (Ⅱ) (34-43) 三国英四郎
ダ ム 日 本 351 74-1
- 354 松木ダムにおける未溶結火山岩への高圧注入グラウトにつ

合理化に徹した 1マン2ドリル操作の

TYDW-2 ドリフトワゴン



新発売

TYDW-2 ドリフトワゴン
は、サブレベル採鉱法における
中段開孔用や、カットアンドフィル
採鉱用、小断面でのずい道掘進用など、
レグ工法を一步進めた自走式ワゴンです。
1マン2ドリルの高能率、省力化タイプで、
搬入、搬出時の分解、組立ても簡単、合理
性に徹したニューモデルです。

特長

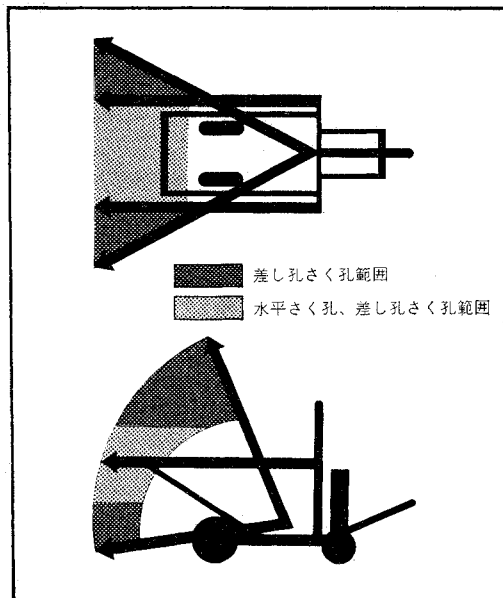
- 小断面でのずい道掘進やカットアンドフィル採鉱法での上向き、平行さく孔ができます。
- 走行はレシプロタイプエアーモーターとタイヤに直結した減速部を備えたトラクション機構でおこない、前、後進切換バルブと走行スピード調整用スロットルバルブの組合わせで走行は安全確実です。
- 搭載ドリルは高性能TY90ドリフター。ビルトインタイプの膨脹空洞型マフラーを装備。さく孔終了と同時に自動的にドリルの作動を停止するオートストップ装置を採用して、部品消耗と、圧気消費量のロスをなくしました。

発売元

東洋さく岩機販売株式会社

東京本・支店：東京都中央区日本橋3-11-2
支店・営業所：大阪・名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

製造元 **東洋工業株式会社**



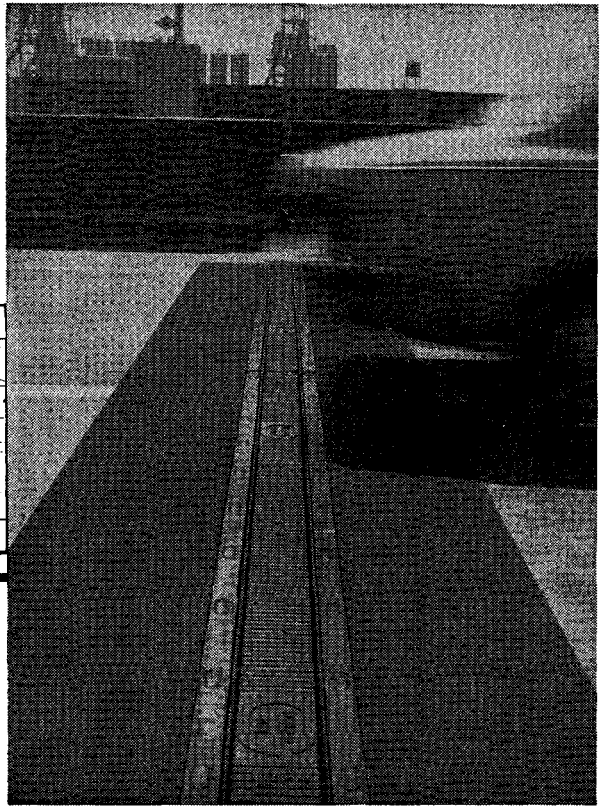
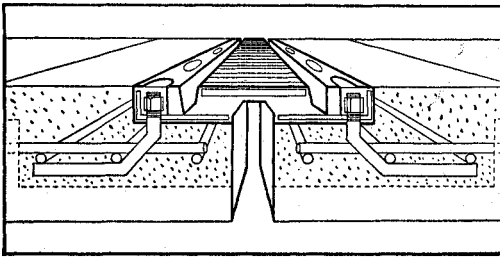
- いて (13-27) 安藤・藤原
- 355 沼原発電所と自然保護について (28-43) 大山・山本
ダム 日本 352 74-2
- 356 野花南ダムの設計・施工について (9-16) 丹・木村・菅原
- 357 中里ダムのコア材料について (17-28) 岡田・浜村
ダム 日本 353 74-3
- 358 土師ダムの設計と施工 (9-17) 田中道弘
- 359 新冠ダムの設計と施工 (19-44) 酒井賢一
OCEAN AGE 6-2 74-2
- 360 北海石油開発の現状 (26-31)
- 361 北海の石油開発 (32-39) 寺田 明
- 362 ノルウェーにおける海底油田掘削 (40-44) 芦野民雄
- 363 荒れくる北海の石油開発 (46-50) C.E. オールコック
- 364 沖合石油産業と漁業との共存共栄 (64-67) パール・テット
ルトン
- 365 サンタバーバラ油流出事故の影響についての証言 (68-70)
- 366 公害に脅かされる唯一の産業＝水産業＝水産企業の苦悩と
叫び (72-77) 志道良夫
- 367 アラスカの石油積出基地建設計画ーヴァルデス港の油染対
策をみるー (78-81)
- 368 急騰する石油価格ー原油価格決定のメカニズムはどう変っ
たか (82-88) 小荻節男
- 369 燃ゆる産油国⑩/アルジェリア (96-100) 加藤 勇
OCEAN AGE 6-3 74-3
- 370 技術エネルギー時代の到来 (18-21) 松田憲和
- 371 夢のエネルギー核融合発電 (22-26) 山本賢三
- 372 地熱発電の現状 地下にひそむ熱源からクリーンエネルギ
ーを (28-31) 喜多河・千葉
- 373 海の波から電気をとる (32-34)
- 374 ふりそぐ太陽エネルギーの利用 (36-39) 鈴木紀男
- 375 省エネルギーを考えよう (41-44) 酒井忠二三
- 376 海上交通安全法について (46-52) 栗山昌久
- 377 超自動化船における船舶航行システム (54-57) 外岡幸吉
- 378 夜間・悪天候下での安全航行装置 VIDER (58-59) 上貞良
三
- 379 海の基本図ー日本周辺の大陸棚や沿岸海域の地図づくりが
進んでいるー (62-67) 桜井 操
- 380 石油からみた南北問題ー産油国の台頭により南北問題は新
しい局面を迎えたー (70-76) 小林 昂
- 381 ソ連の客船隊, 日本を奇襲? (68-69) 小田孝治
- 382 火を吹くロザリオ島 ② (77-79) 佐藤孫七
- 383 燃ゆる産油国 ⑩/ナイジェリア (88-93) 加藤 勇
- 384 今日の海洋開発/海洋開発とメタアクリル樹脂 (96-101) 寺田
明
OCEAN AGE 6-4 74-4
- 385 地質調査船白嶺丸建造の経緯等について (24-27) 池田誠一
- 386 白嶺丸設計の問題点について (31-38) 三菱重工下関造船所
マンガン団塊と白嶺丸 (40-49) 水野篤行
- 388 白嶺丸の役割と日本周辺海底調査 (50-55) 井上英二
- 389 白嶺丸が浮かぶまで (61-65) 横江一男
- 390 白嶺丸の搭載機器 (56-60) 中条純輔
- 391 深海鉱物資源開発と米の立場 (66-69) 小出尋常
- 392 49年度海洋開発関係政府予算の概要 (71-79) 水谷 宏
- 393 "CLEAN SWEEP" (80-82) 館野晃一
水処理技術 15-1 74-1
- 394 塩素系濃薬製造工場廃水処理法の検討 (3-10) 本多・井上・
山田
- 395 $K_2Cr_2O_7$ -COD の簡略測定法について (11-17) 犬飼兼一
- 396 ストリッピング・ボルタムメトリー法による水中微量重金
属の定量 I. (1) 鉛の定量 (19-22) 藤川光男
- 397 生物酸化接触方法による下水の3次処理に関する研究 (23-
28) 渡辺音二
- 398 生物処理と凝集処理の組合せによる下水中のりんおよび窒
素の除去 (29-36) 宮地・広瀬
- 399 高分子を用いる廃水処理による公害防止技術 (8)ー高分子
膜による拡散透析と限外ろ過による廃水処理ー (41-52) 西
村正人
- 400 水質技術への統計学的取組み方 (4) < t 分布による検定・
 χ^2 検定・ポアソン分布・プロビットの応用について > (53-
64) 鈴木 登
- 401 生物学的水質調査のためのケイソウ殻の研究 (69-72)
島倉己三郎
- 402 無機物懸濁排水の清澄に供する Seclar TDM 装置につい
て (73-77) 石野紀元
水処理技術 15-2 74-2
- 403 土壌の汚染と浄化作用 (8)ー廃棄物の埋立(その1) (1-
17) 高橋一三
- 404 担体結合法による酸素の水不溶化と連続酸素反応 (19-27)
宇佐見・前沢
- 405 ケイ酸カルシウムによる排水の有害成分の捕集について
(29-33) 遠山一郎, 外4名
- 406 湖水の酸素補給機構に関する考察 (35-43) 洞沢 勇
- 407 毒性試験用海産魚としてのコバルトスズメについて (45-49)
田端・内富
- 408 ストリッピング・ボルタムメトリー法による水中微量重金
属の定量 (2) II. カドミウム, 銅, 亜鉛の定量 III. 銅,
鉛, カドミウム, 亜鉛の同時定量 (51-55) 藤川光男
- 409 高分子を用いる廃水処理による公害防止技術 (9)ー逆浸透法
による廃水処理ー (61-70) 西村正人
- 410 重金属ニッケル回収とイオン交換樹脂膜の利用 (71-74) 山
口 晃
- 411 振れ振動型粘度計 (75-82) 中村栄一郎
- 412 低圧力逆浸透装置による廃水中の有機物除去 (83-86) 山果
昌継
- 413 流動層式沈殿槽による下水処理 (86-91) 栗本哲男
- 414 下水, 汚泥と処理水のプロテアーゼ活性度 (92-96) 大庭真
治
- 415 過酸化水素による活性汚泥中の糸状菌の除去 (96-98) 間久
威俊
- 416 水および抽出残渣油中 p.p.b レベルの長鎖アミン類の吸光
光度定量 (98-102) 小田島政勝
水処理技術 15-3 74-3
- 417 土壌の汚染と浄化作用 (9)ー廃棄物の埋立(そのII) (1-
14) 高橋一三
- 418 亜硫酸カルシウム廃水の魚毒性 (15-18) 佐野 寛
- 419 下水処理施設活性汚泥中の酢酸質化菌とその特性 (19-28)
井上・本多・石川
- 420 アメリカ合衆国における重金属による環境汚染について
(29-48) 竹中勝信
- 421 活性炭と John W. Hassler (53-56) 柳井 弘
- 422 高分子を用いる廃水処理による公害防止技術 (10)ー逆浸
透法による廃水処理(その2) (57-69) 西村正人
- 423 沈砂掻揚機の新設計法 (83-88) 真島・石井
工業用水 183 73-12

新時代のジョイント!!

橋梁・高架道路用伸縮継手

トランスフレックス®

伸縮量が大きい—最大330mm(特殊660mm)までのものがあります



2時間で硬化する
超早強度無収縮ポリエステルコンクリート
スタ-コンクリートP
も製造しております。

技術に生きる



新田ベルト株式会社

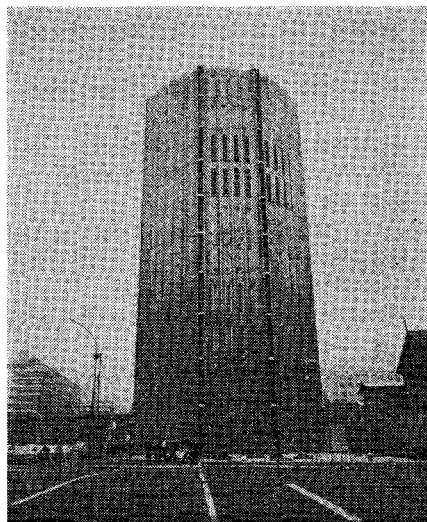
本社 〒541 大阪市東区博労町4丁目30
電話 大阪(06)251-5631(大代表)

東京支店 (03) 572-2301 福岡営業所 (092) 741-4546
名古屋支店 (052) 586-2121 北陸出張所 (0762) 65-6235
札幌営業所 (011) 241-0858 広島出張所 (0822) 81-7350

※資料請求は当社開発課まで
お申し出下さい。

- 424 水源地域対策特別措置法成立の経緯とその概要 (2-8) 徳山直
- 425 本邦火山山麓地域における湧泉の水温 (その2) (9-17) 高橋 稔
- 426 *Escherichia coli* の ¹⁴C-leucine 取込に対する殺菌剤による阻害 (18-22) 及川・鈴木
- 427 鹿島工業用水浄水汚泥処理調査 (23-32) 茨城県企業局工務課
- 428 呉市工業用水道事業の概況 (33-42) 呉市水道局
工業用水 184 74-1
- 429 近畿の工業開発と工業用水 (8-17) 大阪通商産業開発業務課
- 430 沖縄国際海洋博覧会とその水問題 (29-55) 小西泰次郎
- 431 宮崎県日向工業用水道事業の概況 (56-60) 宮崎県企業局
工業用水 185 74-2
- 432 瀬戸内海環境保全臨時措置法の施行について (3-9) 黒田真
- 433 工業廃水中のクロム酸のイオン交換挙動 (10-14) 赤岩英夫, 外3名
- 434 河川汚濁の化学的研究 (その5) —調理排水の汚染について— (15-19) 飯盛 (和)・飯盛 (喜)
- 435 カドミウムのジチゾン抽出の亜鉛の混入—多量の亜鉛を含む排水中のカドミウムの定量 (20-25) 山田・並木
- 436 佐賀地区地下水利用適正化調査報告 (26-40) 福岡通産局総務部開発業務課
- 437 福山市工業用水道事業の概況 (41-56) 福山市水道局
空気調和・衛生工学 48-1 74-1
- 438 室内気流の数値解析 その1 有限差分近似の方法 (5-17) 吉川・山口
- 439 ダクト網の行列表現と応用例 (19-24) 岡田 稔
- 440 熱負荷簡易計算法 (1) 壁体および窓のインディシャル応答の近似解法 (25-32) 斎藤・季・赤坂
空気調和・衛生工学 48-2 74-2
- 441 地下駐車場の換気に関する研究 (69-79) 林・桜井
- 442 空気清浄室に関する研究 (2) (81-88) 早川・青木
- 443 天井吸込み方式における室内環境 (89-99) 井上市市, 外3名
- 444 ホテルグランドパレスの設備計画 (101-109) 伊東俊彦
空気調和・衛生工学 48-3 74-3
- 445 熱気流の昇降流れに関する研究 (2) 逆 U 字形流路に生ずる通気力の一般特性 (155-163) 林・辻
- 446 室内空気分布に関する模型実験と実測 その2 某大形精密機械製作工場, 蔵前国技館の場合 (165-185) 小林満, 外3名
- 447 三菱化成生命科学研究所竣工報告 (187-203) 鯉淵要三
交通技術 348 73-12
- 448 すずむ新幹線網計画 (10-15) 福田祥光
- 449 近鉄大阪線伊賀上津 —伊勢中川間複線化工事— (16-21) 林・青笹
- 450 土木工事積算の電算化について (40-44) 宮崎正義
交通技術 349 74-1
- 451 横浜駅東口総合開発計画発足に際して 副都心再開発の要 (10-15) 一条幸夫
- 452 東北本線複線 CTC 計画 (16-20) 庄司和正
- 453 体質改善すずむ塩浜ヤード 中ヤード自動化の基本形として (34-37) 鈴木・村戸
- 454 ニーズに応じてサービスアップ 装い新たな2段式B寝台車 (21-23) 岡田直昭
- 455 国鉄における首都圏の震災対策 (38-40) 伊能忠敏
- 456 第24回停車場講演会——その1 (41-44) 西田丈美
交通技術 350 74-2
- 457 エネルギーと交通 (4-9) 藤井隆文
- 458 次のメイジフィクションはサイバネで—鉄道サイバネティックス, シンポジウム 10年をかえりみて— (10-14) 前川典生
- 459 列車火災対策樹立のために —狩勝実験線で列車火災テスト— (15-18) 滝田光雄
- 460 列車脱線事故の対策を求めて—小田急電鉄連続列車脱線事故— (19-22) 鶴川浩正
- 461 コンクリート無騒音破壊機 (23-28) 山本・山口
- 462 第24回停車場講演会—その2 (29-31) 広田良輔
交通技術 351 74-3
- 463 通勤輸送の安全確保向上のために —山手線ほか3線区のATC新設計画— (4-9) 三浦敏夫
- 464 完成間近の武蔵野ヤード (10-14) 松田忠義
- 465 新幹線試作電車のニューアコモデーション (15-17) 萩野浩史
交通工学 9-2 74-2
- 466 新交通システムの開発状況と諸問題 (23-34) 佐藤秀一
- 467 自動車総合管制技術の開発 (35-41) 五十嵐義男
- 468 道路の調査から計画まで (2) (49-58) 黒川 洗
- 469 セントパウロの中央地域の人の動きに対する新システム (59-64)
JREA 16-12 73-12
- 470 エネルギーと輸送構造 (1-6) 藤井隆文
- 471 狩勝実験線における列車火災試験 (7-10) 滝田光雄
- 472 山陽新幹線広島, 小倉, 博多駅の計画 (11-17) 田中・牧元・上野
- 473 管団の地下鉄建設計画 (18-22) 猪瀬二郎
- 474 札幌市案内軌条式鉄道の現状と計画 (23-26) 米沢和夫
- 475 コンピューターによる土木工事の情報管理 3 (27-30) 成田・高田
- 476 本州四国連絡鉄道 (31-36) 横田英男
- 477 ゴムトラックの情報伝達 (37-41) 山下・永野
JREA 17-1 74-1
- 478 超音速鉄道の展望 (1-5) 京谷好泰
- 479 私の提案/国鉄における新交通システムの活用策 (6-9) 望月英男
- 480 全国新幹線鉄道網の建設 (10-14) 中井善人
- 481 新幹線の台車検査情報処理システム (15-17) 石田義雄
- 482 通勤線区の ATC (18-21) 原田良一
- 483 電話予約システム (22-25) 高橋邦輔
- 484 駅における旅客案内掲示の設計について (26-29) 武井敏一
- 485 再び「貨物近距離輸送改善について」 (30-31) 山本利三郎
- 486 民営鉄道の新線建設 (32-36) 小林弘幸
- 487 車両空調の快適条件について (37-41) 稲垣哲男
JREA 17-2 74-2
- 488 車両設計技術情報検索システム TIRS-I の開発 (1-4) 佐々木・北川
- 489 今年登場する新形式車両の概要 (5-7) 芳賀恒雄
- 490 車両空調の熱負荷計算方法 (8-11) 稲垣哲男
- 491 ワンマン機器扱いからみたバス運転台のレイアウト (12-17) 伊南盛治
- 492 高速バス用タイヤの現状と問題点 (18-21) 辰谷誠治
- 493 150人のりホーバークラブ (22-23) 延原俊介
- 494 ヨーロッパ鉄道の騒音対策調査 (30-33) 白子典雄
- 495 土路盤上スラブ軌道 (34-38) 山口芳昭
JREA 17-3 74-3
- 496 新交通システム (1-6) 藤井澄二

首都高速道路 八重洲トンネルで換気に活躍!

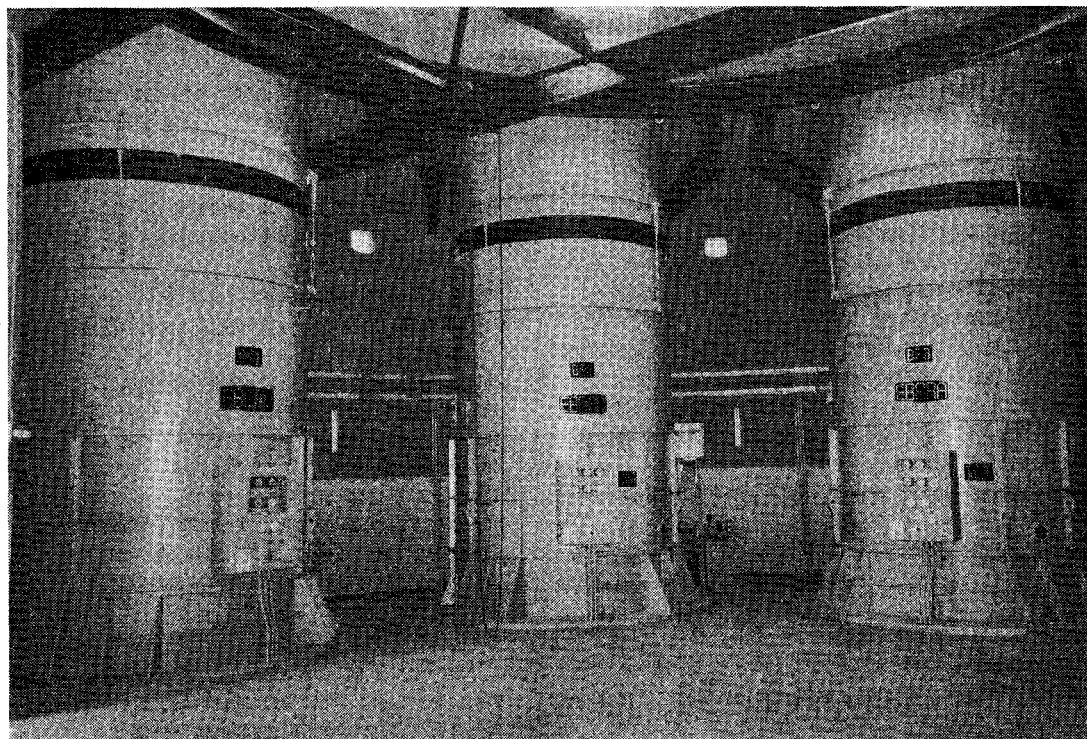


鍛冶橋換気所

エハラ軸流送風機

口径3,000 mm 6台鍛冶橋換気所設置

48年2月に開通した首都高速道路八重洲トンネルは、鍛冶橋と常盤橋とを結ぶ延長約1.5kmの自動車専用トンネルで、都心の地下街・駐車場・地下鉄などと立体的に交錯する複雑な立地条件にあり、完全な換気と防火を要求されております。本トンネルの換気設備のうち当社は鍛冶橋地区を担当し開通以来順調に稼動中で、ここを利用する毎時2~3,000台の自動車の安全を守っております。



型式：No.30AEGMエハラ立型軸流送風機
全圧：80mmAq(20°C, 760mmHgにて)
電動機：特種籠型開放防滴 出力135/60 kW,
極数 6 / 8P(極数変換)

台数：送風機×3台, 排風機×3台
口径：3,000mm ϕ
空気量：110m³/S



荏原製作所

本社：東京都大田区羽田旭町 (03)741-3111
東京事務所：東京都中央区銀座6丁目 朝日ビル (03)572-5611
大阪支社：大阪府北区中之島2丁目 新朝日ビル (06)203-5441
営業所：名古屋・福岡・札幌・仙台・広島・新潟・高松

- 497 エネルギー危機 (7-10) 酒井忠二三
- 498 大都市鉄道網の計画手法 (11-14) 宮田 一
- 499 コンテナ情報システム (EPOCS) の設計思想 (15-17) 星屋益男
- 500 コンテナ着発線荷役方式 (18-19) 中島・前田
- 501 全国系を考えた列車ダイヤ自動作成の研究 (20-22) 佐竹・飯田
- 502 新幹線総合指令における情報系の解析と考察 (23-25) 飯山・柳川
- 503 ATC 中央制御式自動運転のシステム 構想 (26-28) 長田喜久
- 504 新幹線車両基地における構内制御システム (29-31) 東光英昭
- 505 データ交換システムと今後のコンピュータネットワーク (32-44) 松尾益次郎
- 506 超高速鉄道の推進走行シミュレーション (35-38) 渡部・山口
- 507 大都市におけるバス運行の解析 (39-41) 森 秀夫
鉄道土木 15-9 73-9
- 508 東北本線利根川橋りょう改良計画 (6-10) 国重 始
- 509 コンクリートパイル打設時の振動 (11-14) 村地・大玉
- 510 武蔵野操車場構造物と軟弱地盤の問題 (下) (15-17) 鬼頭・坂東・山本
- 511 生石灰ぐいによる軟弱地盤改良く都営地下鉄 10 号線> (19-27) 吉田・金安
- 512 トンネル出口付近崖錘地帯の施工<紅葉山線第一紅葉山トンネル>(29-32) 吉田・東
鉄道土木 15-10 73-10
- 513 生石灰パイル工法の効果 (6-9) 垂水・三沢
- 514 小形電算機を用いた積算くトンネル下水、路盤コンクリート等>(11-16) 戸田 清
- 515 日高橋りょうケーソン工法<紀勢本線と佐一道成寺間> (17-20) 二井上正信
- 516 橋りょうの活線改築工事<信越本線加茂川橋りょう> (21-24) 小倉賢治
- 517 TBM とロードヘッダー併用によるトンネル掘削<東北新幹線第2有壁トンネル>(25-30) 大浦・室野
- 518 合成けたの設計 (2) (31-34) 保坂鉄矢
- 519 大規模な土流失災害を顧みて<肥薩線真幸地区>(35-39) 田上 優
- 520 土木機械の話 (9) <軌道用機械>(45-49) 秋元 清
- 521 トンネルの話 (2) (51-55) 峯本 守
鉄道土木 15-11 73-11
- 522 トンネル掘削中の静電気集じん法 (6-10) 三沢・高橋
- 523 武蔵野ヤード総合自動化システム (11-14) 松田忠義
- 524 PC下路けたの施工<山陽新幹線第2平原架道橋>(15-20) 井上・石川・藤枝
- 525 リニアモーター方式による自動化工事<塩浜ヤード>(21-25) 犬館一雄
- 526 転倒工法によるトラス更換<山陰本線鐘打沢橋りょう> (27-30) 橋本貞三
- 527 合成けたの設計 (3) (31-34) 保坂鉄矢
- 528 環境変化による災害 (35-38) 桜井 進
- 529 工事請負契約書の改正 (39-42) 堀越政男
- 530 土木機械の話 (10) <橋りょう架設機械 (上)> (43-49) 石黒・朝倉
- 531 トンネルの話 (3) (51-54) 峯本 守
- 532 設計協議とは (下) (55-59) 堀内義朗
鉄道土木 15-12 73-12
- 533 騒音とその対策 (6-12) 坂井義生
- 534 線路近接コンクリート構造物の破壊 (13-18) 相蘇・富沢
- 535 高架橋の活線改築<南部線八丁駅構内>(19-20) 相原茂
- 536 湖西線塩津川橋りょうの施工 (37-40) 窪田元恢
- 537 合成けたの設計 (4) (41-44) 保坂鉄矢
- 538 土木機械の話く橋りょう架設機械 (下) >(45-50) 石黒・朝倉
- 539 トンネルの話 (4) (51-55) 峯本 守
- 540 営業線近接工事保安関係標準方書 (質疑応答) (56-57) 桑原・橋本
鉄道土木 16 | 1 74-1
- 541 千歳川橋りょうの改良く鹿児島本線肥前旭一久留米間> (16-20) 石川順士
- 542 揖斐一良長川長大井筒の設計施工 <関西本線長島一桑名間>(21-24) 飯田正雄
- 543 大函きょの分割引込工法による立体交差く常磐線隅田川駅構内>(25-32) 上・漆原
- 544 合成けたの設計 (5) (33-36) 保坂鉄矢
- 545 最近の雪害対策 (上) (37-) 引田精六
- 546 土木機械くコンクリート自動吹付機>(42-46) 五十嵐伊三郎
- 547 新幹線の建造物検査 (上) (47-50) 渋谷・岡本
鉄道土木 16-2 74-2
- 548 路盤の仕上り精度の連続測定 (7-10) 岩崎高明
- 549 東京中央郵便局の仮受施工<東京地下駅>(11-15) 三橋 明
- 550 単純連続立体交差化工事<高徳本線粟林駅付近高架化> (17-20) 門田美徳
- 551 アースアンカー工法による仮土留工と掘削く山陽新幹線広島駅>(21-25) 末統・梶原
- 552 合成けたの設計 (6) (27-30) 保坂鉄矢
- 553 最近の雪害対策 (下) (31-34) 引田精六
- 554 航空写真の判読法 (1) <判読のための予備的知識>(35-38) 今井篤雄
- 555 新幹線の建造物検査 (下) (39-42) 渋谷・岡本
- 556 重機による旧橋脚てっ去作業中の橋けた衝撃事故 (47-47) 施設局土木課
- 557 踏切事故防止対策く工事担当者として考慮すべきこと> (48-51) 施設局踏切課
鉄道線路 21-9 73-9
- 558 本州四国連絡架橋計画と鉄道 (1) (27-34) 小林 正
- 559 フロンテジャッキング工法 (35-39) 上・漆原
- 560 線増工事中に破壊した盛土の復旧対策 (49-52) 渡辺 進
- 561 中下級線路上区間用PCまくらぎ締結装置の設計・試験 (53-54) 相原・熊崎
鉄道線路 21-10 73-10
- 562 踏切事故の状況と対策 (4-8) 片山守彦
- 563 踏切の部外協議 (9-11) 早川庄一郎
- 564 踏切の統廃合と交通規制 (13-14) 岡増 勇
- 565 踏切の統廃合 (15-16) 工藤一男
- 566 ダンプカー対策 (17-18) 伊井忠夫
- 567 ダンプカーに対する踏切事故防止対策 (19-20) 堀江・麻生
- 568 山口県における踏切道の交通規制 (21-23) 倉重一雄
- 569 小田急電鉄における踏切対策 (24-26) 剣持・外山
- 570 昭和 47 年度福鉄局施設部運転事故防止重点施策とその実績 (主に踏切事故防止について) (27-30) 伊東 信
- 571 踏切は常に鉄道優先でなければならぬか (31-31) 伊東 信

荒波から守る

全国の港湾づくり、護岸工事で活躍中

セミハイテンタイロッドは、特殊鋼としてすぐれた実績をもつ神鋼の構造用高張力鋼を素材として開発した理想的テンションバーです。適当な引張り強さとねばさを兼ね備えており曲げや衝撃荷重にビクともしません。荒波の押し寄せる岸壁や護岸は、擁壁用に、建築に全国で大活躍。高品質で経済的なタイロッドとして、数多くの施工実績をもっています。

- 強度と靱性は高めています。
- アブセット加工ですから、ロッド全体に継目がなく強度の局部的なバラツキがありません。
- 連続熱処理炉でロッド全体を焼鈍処理しているため品質が安定しています。
- 600トンの引張試験機で完成品の強度を測定していますので安心いただけます。
- 従来の普通鋼の場合に比べて軽径でも、使用トン数が少なく経済的。工事費も節減できます。

(引張り強さ)プラス(ねばり強さ)

セミハイテンタイロッド

 **神戸製鋼**
鉄鋼事業部

東京本社 〒100 東京都千代田区丸の内1丁目(鉄鋼ビル)

☎ (03)218-7111

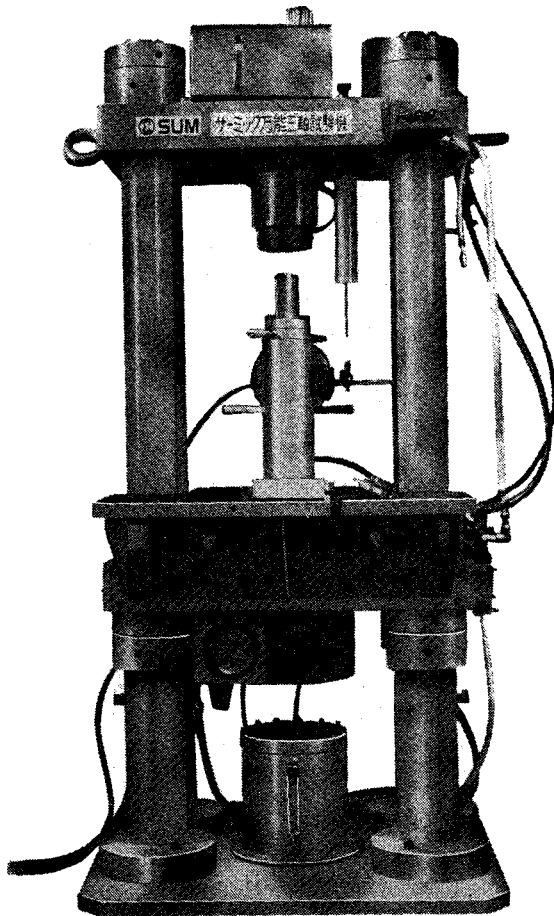
大阪支社 〒541 大阪市東区北浜3丁目5(大阪神鋼ビル)

☎ (06)203-2221

- 572 防振軌道の試みとその効果 (32-35) 藤原・中村
 573 東武鉄道における重マルチ作業 (36-38) 青山 健
 574 作業計画のたて方 (39-42) 山田栄一
 575 新幹線における運転指令業務 (43-47) 黒田・安藤
 576 コムトラックのあらまし (48-51) 佐藤正夫
 577 本州四国連絡架橋計画と鉄道 (2) (53-57) 小林 正
 578 水で岩を切る (58-61) 高木喜内
 579 HMP (電熱溶融式可変パッキン) の実用化試験 (63-) 清水・吉田
 鉄道線路 21—11 73—11
 580 敷設条件によるスラブ軌道の適応範囲 (7-15) 菊地・原
 581 既設線省力化軌道 (17-22) 徳岡研三
 582 スラブ軌道分岐器および伸縮継目 (23-34) 鳥越信一
 583 防振スラブ軌道 (35-39) 徳岡研三
 584 スラブ軌道用レール締結装置の開発 (41-44) 梅田静也
 585 夏期におけるセメントアスファルトモルタルの注入 (45-48) 井上・松波
 586 山陽新幹線のスラブ軌道工事 (49-61) 谷 茂美, 外 3 名
 587 営業線へのスラブ軌道の敷設 (62-68) 安部・三宅
 588 石勝線スラブ軌道の施工 (69-72) 鈴木信義
 589 湖西線におけるスラブ軌道の施工 (73-76) 杉田 篤
 590 省力化軌道の施工 (77-81) 樋山嘉寿
 591 土路盤上スラブ軌道の施工結果とその後の軌道状況 (82-87) 伊藤郁郎
 592 山陽新幹線 (岡山—博多間) 軌道スラブ製作工事 (88-94) 岡田智也
 593 新幹線スラブ軌道の保守 (95-100) 臼井幸彦
 594 スラブ軌道の保守 (101-104) 松本勝雄
 鉄道線路 21—12 73—12
 595 東海道貨物線の列車脱線<新観見—横浜間> (4-9) 橋本済生
 596 リニアモーターカー使用区間の PC まくらぎの開発 (9-12) 山口 章
 597 工事契約書の改正 (13-16) 小堀義夫
 598 PC トラスの架設計画—山陽新幹線岩鼻架道橋—(22-24) 松隈秀信
 599 武蔵野操車場の貨車偏積測定装置 (25-27) 目黒 紳
 600 京浜急行電鉄における軌道の現状 (28-32) 城田・松本
 601 防雪設備と除雪体制 (33-37) 山本栄一
 602 レール締結装置のレール抑えばね (38-41) 豊田昌義
 鉄道線路 22—1 74—1
 603 調査 5 新幹線の整備計画決定と今後の問題 (8-11) 飯島俊博
 604 山陽新幹線の軌道工事 (12-15) 青木正彦
 605 東北新幹線 (東京・盛岡間) の軌道工事 (16-19) 青木・柘植
 606 軌道の整備 (20-23) 酒井・宮下
 607 木まくらぎの止め釘支持力強化法 (24-28) 清水・吉田
 608 フランス国鉄研修報告 (29-34) 佐藤吉彦
 609 新幹線の電気設備 (35-38) 玉井義興
 610 青函トンネルの概要 (39-41) 壺阪祐三
 611 てん充道床用注入材の開発試験 (42-46) 原田 豊
 鉄道線路 22—2 74—2
 612 国鉄における首都圏の震災対策 (6-9) 伊能忠敏
 613 新幹線スラブ軌道工事用渡り線 (10-14) 仙波昭一
 614 踏切事故防止のために (15-17) 小坂橋博
 615 ソ連製フラッシュバット溶接機 (18-22) 秋元 清
 616 寒冷地におけるスラブ軌道の施工 (23-29) 林 茂一
 617 ブラジルのヴィトリア・ミナス鉄道 (30-34) 立松俊彦
 618 マクラギ運搬 (マクラギ運搬車) 作業標準 (35-37) 山田栄一
 619 構造物の基礎工法 (38-40) 菅生邦孝
 高速道路と自動車 16—12 73—12
 620 最近の人間工学の発展と課題 (9-12) 大島正光
 621 道路の人間工学 (13-16) 伊吹山四郎
 622 現在の道路状況と将来の交通 (17-23) 吉田俊郎
 623 都市交通と自転車道 —自転車道の整備を急げ— (24-29) 市川 宏
 624 道路交通安全対策の考察 (36-39) 森 尚雄
 625 道路交通事故の心理学—事故者の心理的特性(40-43) 大塚博保
 626 東名高速道路の誘導通信 (63-67) 水谷 宏
 627 名神・東名高速道路の交通事故の実態 (68-72) 橋本卓明
 628 タクシーに対する公共規制 (78-95) M.E. ビーズリー
 629 高速道路の交通事故と照明 (96-106) P.C. ボックス
 高速道路と自動車 17—1 74—1
 630 今日的高速道路の側面 (10-13) 早川 精
 631 交通政策と高速道路 (14-18) 増井健一
 632 高速道路の管理のあり方 (19-22) 吉田 滋
 633 自動車業界からみた道路問題 (32-35) 桜井淑雄
 634 当面の石油問題について (36-39) 森崎久寿
 635 トラック輸送からみた道路問題 (40-44) 中村友弥
 636 中華人民共和国瞥見 (50-55) 榎箸 浩
 637 ソ連の道路事情 (56-60) 井上元哉
 638 規制制約下の企業の行動 (74-85) H. アバーチ, 外 1 名
 639 新しいタイヤスタッドの開発 (86-99) R. キャンツ
 高速道路と自動車 17—2 74—2
 640 道路と文化財, そして文化財としての道路 (7-11) 稲垣栄三
 641 道路建設と文化財 (12-16) 木原啓吉
 642 文化財保護からみた道路 (17-20) 吉久勝美
 643 高速道路建設と文化財 (21-26) 持田三郎
 644 文化財保護の問題点 (38-42) 古村澄一
 645 高速道路における路線バスについての一考察 —名神八日市バス・ストップの調査から (43-49) 大塚岩男
 646 奈良県における文化財と道路行政 (50-53) 村上元男
 647 中国道・近畿道における文化財保護の問題 (54-59) 河盛孝夫
 648 福岡周辺の道路計画と文化財 (60-64) 田原英二
 649 高速道路と埋蔵文化財 (65-70) 住友栄吉
 650 マダガスカル共和国の交通運輸調査報告 (72-78) 鳥居康政
 651 混雑と最適都市規模 (85-94) E. シェンシスキー
 652 高速道路は良き隣人となりうるか?—高速道路の形式と住民意識 (95-99) E.T. ピーターソン
 高速道路と自動車 17—3 74—3
 653 道路交通の未来像 (7-11) 八十島義之助
 654 高速道路網建設の問題点と今後の方向—新しい道路づくり (12-15) 片平信貴
 655 高速道路の展望 (16-19) 佐竹義昌
 656 未来の自動車 (20-24) 宮本晃男
 657 都市交通対策の効果予測モデル (30-35) 中村英夫
 658 大気汚染を中心とする道路環境問題と都市交通計画 (36-42) 太田勝敏
 659 間接経済効果の‘転移説’対‘独立存在説’ (43-54) 河野博志
 660 道路交通の将来の問題点 (55-62) 井口雅一
 661 国際交通シンポジウムに参加して (63-66) 星 堃 和
 662 アバーチ・ジョーンソン企業行動モデルの幾何学的解釈 (68-74) E.E. ザジャック

サーボシステムのパイオニアが開発した新システム方式による

サーミック 万能三軸試験機!



■試験項目

- 三軸圧縮試験
- 平均主応力一定試験
(全応力法、有効応力法とも可能)
- 定容積セン断試験
- セル試験
- プログラムクリープ試験
- 低速くり返し試験

■仕様

- (1) 供試体寸法：直径 30～100mm
高さ 100～500mm
- (2) 拘束圧力：0～1000kg/cm²
- (3) 軸方向応力：0～5000kg/cm²
- (4) 計測：軸方向応力および変位、
拘束圧力、間隙水圧、
体積変化量自動記録
(オプション：オンラインデータ処理)

■営業品目

- サーミック路盤加振機
- サーミック動的圧密試験機
- サーミックくり返し三軸試験機
- 土木材料動的載荷試験機
- 振動台 (地震のシムレータ)



株式会社 サム電子機械

本社 東京都世田谷区南烏山6-14-11
〒157 TEL (東京) 03-308-0231(代)

三鷹実験室 東京都三鷹市下連雀8-9-20 (サム電子ビル)
〒181 TEL (武蔵野) 0422-46-7211(代)

- 663 アバーチ・ジョンソンの企業行動モデルの幾何学的解釈：コメント (75-76) R.J. ストンブレイカー
- 664 アバーチ・ジョンソンの企業行動モデルの幾何学的解釈：解答 (77-) E.E. ザジャック
- 665 既製表面処理舗装の試験施工 (78-86) P. パンス
道路建設 73—12
- 666 開発途上国の交通事情と道路建設 3. ウガンダ (13-18) 鳥山正光
- 667 首都高速道路足立、三郷線について (22-26) 石田博英
- 668 ソ連のバイブラインと永久凍土 (43-45) 原田千三
- 669 コンクリート舗装における路盤厚の設計について (46-48) 植下 協
- 670 新潟国道工事事務所の道路整備事業 (49-58) 土屋・末田
- 671 中国縦貫道 118 km を建設—日本道路公団山口工事事務所の近況— (59-63) 佃 英二
道路建設 74—1
- 672 道路と公害 (55-66) 高橋一男
- 673 南勢バイパスの建設事業概要 (92-96) 小林栄一
- 674 交通車両による地盤振動防止工法 (舗装補修工法) の効果について (97-107) 奥・高橋
道路建設 74—2
- 675 道路の緑化について (14-17) 戸谷松司
- 676 高速道路と環境 (26-28) 藤原 明
- 677 道路建設業の経営分析—昭和 46 年度 47 年度について— (33-51) 川上多計志
- 678 斜面崩壊の予知 (52-54) 稲田倍穂
- 679 三重工事事務所の道路整備事業 (55-61) 伊藤幹郎
- 680 関越道の表玄関を建設—日本道路公団東松山工事事務所の近況— (62-65) 小林功武
- 681 寒冷期の加熱アスファルト混合物の冷却時間 (66-71) 松崎・藤井
道路建設 74—3
- 682 開発途上国の交通事情と道路建設 5. ケニヤ (34-39) 鳥山正光
- 683 道路建設業の経営分析 (2)—昭和 46 年度, 47 年度について— (41-53) 川上多計志
舗 装 8—9 73—9
- 684 路面性状とすべり, 騒音 (3-7) 市原 薫
- 685 ホールトラッキング試験方法の問題点 (8-12) 北村幸治
- 686 港湾のエプロン舗装 (13-21) 森口 拓
- 687 鉦津路盤材使用上の問題点 (22-26) 小林・伏見
- 688 道路土工 (29-32) 久野・稲田
- 689 舗装の力学 (33-38) 植下 協
舗 装 8—10 73—10
- 690 高速道路の舗装補修基準に関する調査 (上) (3-7) 高速道路調査会土工および舗装補修研究委員会舗装補修研究班
- 691 名四国道道徳架高橋の橋面舗装—アスファルト混合物の配合設計— (8-15) 千葉・加藤
- 692 アスファルト舗装工事の自主施工—相武国道工事事務所の実施例— (16-22) 桐山・佐藤
- 693 2車線同時打設のコンクリート舗装—埼玉県における一例— (23-28) 石井幸三郎
- 694 密粒ギャップタイプすべり止め舗装の一例 (29-34) 内田 弘
- 695 道路土工 (37-40) 久野・稲田
舗 装 8—11 73—11
- 696 東北道コンクリート舗装の設計と施工 (矢板～白河間) (3-10) 金谷重亮
- 697 高速道路の舗装補修基準に関する調査 (下) (11-18) 高速道路調査会土工および舗装研究委員会 舗装補修研究班
- 698 アスファルト混合物の力学的性状の測定法 (上) (19-26) 菅原・中島・笠原
- 699 アスベストを使用した試験舗装—一般国道 13 号線和田地区 (27-30) 赤津・村上
- 700 道路土工 (33-37) 久野・稲田
舗 装 9—1 74—1
- 701 橋面舗装の現況 (3-9) 瀬戸・戸田
- 702 首都高速道路の橋面舗装 (10-13) 戸田 透
- 703 大型ドックにおけるアスファルト舗装の実施例 (14-21) 北村・駒沢・上戸
- 704 アスファルト混合物の力学的性状の測定法 (下) (22-28) 菅原・中島・笠原
- 705 道路土工 (31-34) 久野・稲田
- 706 セメントコンクリート舗設用機械の使い方 (35-36) 千葉達彦
- 707 補修用機械 (37-38) 高野 漢
舗 装 9—2 74—2
- 708 道央・札幌自動車道のロードヒーティング (3-10) 森山・古谷
- 709 開拓道路のアスファルト舗装—群馬県嬭恋西部地区における一例— (11-16) 三品・畔上
- 710 タイ国の道路事情と日・タイ道路センター (17-22) 藤波 督
- 711 シックリフト工法によるフルデプス舗装の実施例 (23-26) 正田武彦, 外 3 名
- 712 道路土工 (29-33) 久野・稲田
- 713 セメントコンクリート舗設用機械の使い方 (34-36) 千葉達行
- 714 補修用機械 (37-38) 高野 漢
トンネルと地下 4—12 73—12
- 715 廃線トンネルの活用国道 8 号線郷津トンネル (5-14) 渡辺宏
- 716 工業用水トンネルの河底横断小断面シールドの設計例 (15-20) 笠原・鹿島・宮崎
- 717 オリピック後のミュンヘン市の地下鉄建設 (21-29) 福井正憲
- 718 完成間近の山陽新幹線山口県内のトンネル工事 (31-34) 江本佑橋
- 719 鉄道シールドトンネルにおけるコンクリートセグメントの設計・施工 (2) (41-47) 横山浩雄
トンネルと地下 5—1 74—1
- 720 北海道の道路とトンネル凍害対策あれこれ (3-11) 丸山 博
- 721 オリピック後のミュンヘン市の地下鉄建設 (2) (26-33) 福井正憲
- 722 軟弱地盤における長大さや管の挙動について (40-45) 横山芳雄
- 723 立坑の多量湧水と対策—上越新幹線中山トンネル四方木立坑 (46-57) 平沢市郎, 外 3 名
- 724 鉄道シールドトンネルにおけるコンクリートセグメントの設計施工 (3) (12-25) 横山浩雄
- 725 覆工入門 (2) (58-64) 高山・山本
- 726 上水道トンネル入門 (3) (65-74) 松本・峯尾

測量業務のノウハウに 完璧に応える自動製図システム。

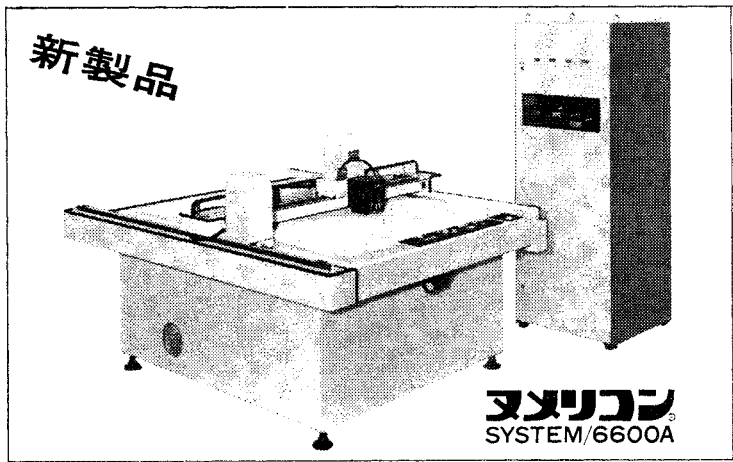
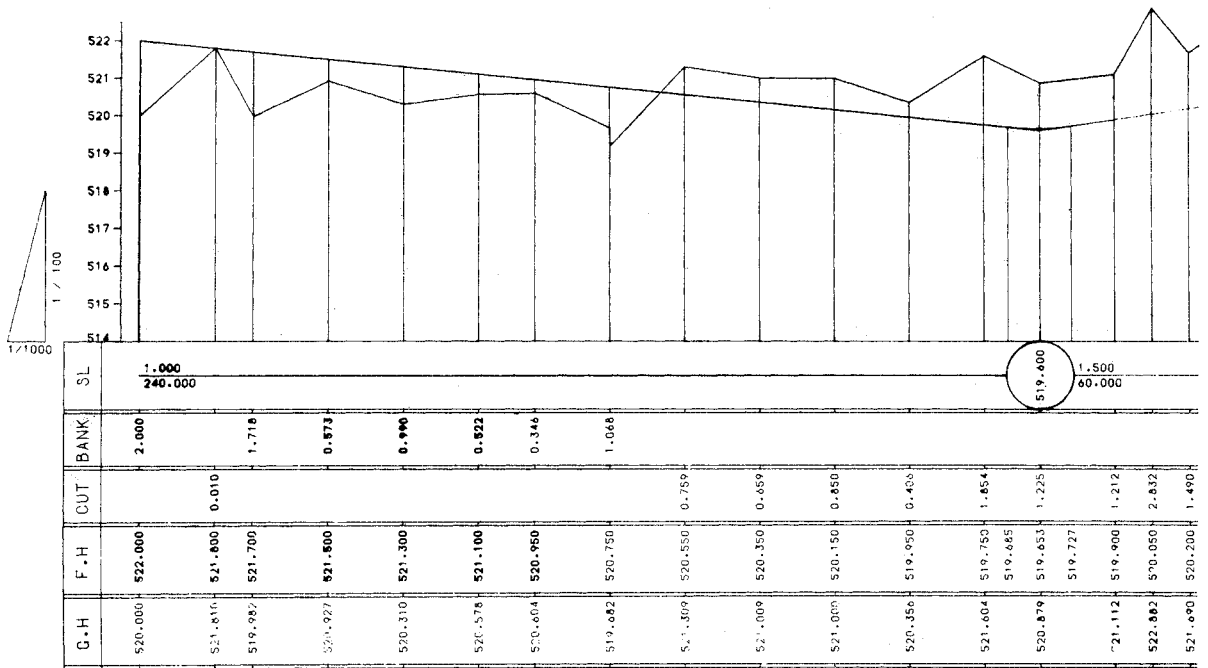
ヌメリコン[®] SYSTEM6600/A

《ヌメリコンSYSTEM6600/A》は、測量の内業を省力化する新しい自動製図システム。美しい極細線の製図、円弧斜体文字の描画、さらに測量のための各種計算プログラムなど、測量業務のあらゆるノウハウに応えます。

たとえば：計算簿作成のためのプログラムとして、●トラバース計算(高低計算、座標計算など) ●街区計算(方向角計算、中心点街区点間距離及び方向角計算、隅切面積計算、街区辺長計算、総地積計算、街区面積

計算、街区点座標計算、隅切面積総和計算、道路地籍計算など)。
●道路横断高低計算 ●道路縦断高低計算などが用意されています。

MUTOH



★技術の粋を結集した豊富な特長

- ※国土調査用の地籍図にも100%の効果を発揮する極細線の製図が可能。
- ※駆動方式はラックピニオン方式を採用。
- ※標準タレット・ヘッドは4種類同時マウント(オプション、鉛筆描き用ヘッド)。
- ※線の太さ、ボールペンの色は自動切替え。
- ※従来からの4倍の速度で高速製図。
- ※円、円弧も標準システムで描けます。

武藤工業株式会社

東京都世田谷区池尻3-1-3 千154
TEL03(413)8111(大代)

★カタログ・資料のご請求は本社企画室0G-6係へ

システム専業部
東京営業所 TEL03(413)8111(大代)
大阪営業所 TEL06(385)2201(代)
名古屋営業所 TEL052(761)5171(代)